

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)および第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,004	60,633
受取手形及び売掛金	13,970	6,167
商品及び製品	1,182	1,180
仕掛品	734	1,422
原材料及び貯蔵品	538	518
ゲームソフト仕掛品	16,926	25,780
その他	4,518	2,285
貸倒引当金	△58	△28
流動資産合計	90,817	97,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,845	10,441
その他（純額）	9,513	9,896
有形固定資産合計	20,359	20,338
無形固定資産		
	432	367
投資その他の資産		
その他	11,830	11,242
貸倒引当金	△32	△31
投資その他の資産合計	11,798	11,210
固定資産合計	32,590	31,915
資産合計	123,407	129,874
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,988	2,391
電子記録債務	1,153	749
1年内返済予定の長期借入金	1,579	1,429
未払法人税等	4,251	2,277
賞与引当金	3,089	1,583
その他	9,149	12,736
流動負債合計	23,212	21,167
固定負債		
長期借入金	6,735	6,021
退職給付に係る負債	3,004	3,178
その他	1,705	2,138
固定負債合計	11,445	11,337
負債合計	34,658	32,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,329
利益剰余金	62,595	71,391
自己株式	△27,456	△27,457
株主資本合計	89,708	98,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	58
為替換算調整勘定	△713	△942
退職給付に係る調整累計額	△271	△248
その他の包括利益累計額合計	△958	△1,133
純資産合計	88,749	97,369
負債純資産合計	123,407	129,874

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	61,270	52,908
売上原価	35,872	21,901
売上総利益	25,398	31,006
販売費及び一般管理費	11,937	12,557
営業利益	13,461	18,448
営業外収益		
受取利息	98	188
受取配当金	16	18
為替差益	411	60
その他	315	159
営業外収益合計	841	426
営業外費用		
支払利息	60	53
支払手数料	52	52
割増退職金	602	—
その他	47	66
営業外費用合計	763	171
経常利益	13,539	18,702
特別損失		
固定資産除売却損	21	12
減損損失	393	—
特別損失合計	415	12
税金等調整前四半期純利益	13,123	18,690
法人税、住民税及び事業税	2,261	5,018
法人税等調整額	1,681	606
法人税等合計	3,942	5,624
四半期純利益	9,180	13,065
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,180	13,065

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,180	13,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	31
為替換算調整勘定	479	△229
退職給付に係る調整額	19	22
その他の包括利益合計	373	△175
四半期包括利益	9,554	12,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,554	12,890
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,123	18,690
減価償却費	2,470	1,964
減損損失	393	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,676	△1,499
受取利息及び受取配当金	△115	△206
支払利息	60	53
為替差損益 (△は益)	△144	128
固定資産除売却損益 (△は益)	21	12
売上債権の増減額 (△は増加)	7,972	7,700
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△813	△968
ゲームソフト仕掛品の増減額 (△は増加)	△1,906	△8,848
仕入債務の増減額 (△は減少)	554	△1,972
その他	△7,106	6,163
小計	12,822	21,187
利息及び配当金の受取額	116	186
利息の支払額	△51	△45
法人税等の支払額	△5,783	△6,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,104	15,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△1,088
有形固定資産の取得による支出	△1,454	△1,592
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△75	△47
その他	35	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,490	△2,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△897	△864
自己株式の取得による支出	△6,001	△1
配当金の支払額	△3,560	△4,268
その他	△309	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,769	△5,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△519
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,159	6,533
現金及び現金同等物の期首残高	46,539	53,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 41,379	※ 59,538

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、CAPCOM ENTERTAINMENT KOREA CO., LTD. は、清算により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

IFRS第16号「リース」の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについては、第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における連結貸借対照表は、使用権資産（有形固定資産のその他）が329百万円、リース債務（流動および固定負債のその他）が322百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
現金及び預金勘定	41,379百万円	60,633百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	—百万円	△1,095百万円
現金及び現金同等物	41,379百万円	59,538百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月11日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,916	35	2018年3月31日	2018年6月12日
2018年10月29日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,642	15	2018年9月30日	2018年11月13日

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割は、2018年4月1日を効力発生日としておりますので、2018年3月31日を基準日とする配当につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年10月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,737,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が60億1百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が274億56百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月17日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,135	20	2019年3月31日	2019年6月18日
2019年10月29日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,135	20	2019年9月30日	2019年11月14日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,855	8,082	3,231	59,168	2,102	61,270	—	61,270
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	47,855	8,082	3,231	59,168	2,102	61,270	—	61,270
セグメント損益	15,288	868	△639	15,517	981	16,498	△3,037	13,461

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△3,037百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,037百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デジタルコンテンツ」セグメントにおいて、処分を予定している事業資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は393百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	40,589	9,201	663	50,454	2,453	52,908	—	52,908
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	40,589	9,201	663	50,454	2,453	52,908	—	52,908
セグメント損益	19,885	1,187	376	21,449	358	21,807	△3,358	18,448

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△3,358百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,358百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	83円95銭	122円39銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	9,180	13,065
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	9,180	13,065
普通株式の期中平均株式数(千株)	109,359	106,751

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

(1) 2019年10月29日開催の取締役会において、定款の規定に基づき2019年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行いました。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ① 配当金の総額 | 2,135百万円 |
| ② 1株当たりの金額 | 20円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日および支払開始日 | 2019年11月14日 |

(2) 競争法当局の調査等について

当社およびその子会社であるCE EUROPE LTD.、CAPCOM U. S. A., INC. (以下、カプコングループ) は2019年4月5日に、欧州委員会より、欧州におけるPCゲームの販売に関して欧州競争法違反の嫌疑に関するStatement of Objections (※異議告知書) を受領いたしました。

カプコングループは、本異議告知書の内容を精査した上で、適切に対応する所存です。

※「異議告知書」とは、欧州競争法違反の疑いに関する欧州委員会の暫定的な見解を示した文書です。「異議告知書」は調査中の文書であり、欧州委員会の最終的な決定ではありません。本文書の受領者は、反論等を含め、意見を述べる事が認められております。また、欧州委員会の最終決定については、欧州裁判所へ上訴することが可能です。